

ると予測されている二〇三〇年に向けて、熊本の医育界はどのような取り組みをすべきかを検討しようと始まったこの「熊本県医療人育成総合会議」ですか、近年、東京などの大都会では二〇二五年には「医療難民」が続出する危険性があるともいわれ始めているようです。

この問題への最も重要な対処法の一つは「チーム医療の促進」にあるという考えから、「熊本におけるチーム医療の現状と課題」を第一回目のこの会議で取り上げました。そこでは、医師と連携して作業するメディカルスタッフの重要性が今後ますます高まるという認識が広まったと思います。そうしますと、優秀なメディカルスタッフを育成するにはどのような取り組みが必要なのかをみんなで考えることが次の課題になるでしょう。本年度の総合会議実行委員会では、その課題を解くカギの一つは、メディカルスタッフの教育を担当する教員の育成はどのようなになっているのか、この教育者の質を更に向上させていくにはどのような取り組みが必要なのを考えることにあるという結論に至りました。こうして、「第三回熊本県医療人育成総合会議」のテーマは「医療人育成を担う教育者の質の向上への課題」ということになりました。

平成二十四年十一月十七日(土) 一三時三〇分から、熊本大学臨床医学教育研究センター一階、奥窪記念ホールにおきまして、以下の講演会と総合討論会を行う計画になっております。

司会・熊本大学大学院生命科学部研究部

授 木原信市氏、
熊本総合医療リハビリテーション
学院長 寺崎秀則氏

講演
(1) メディカルスタッフ教育を考える
〜 医師・薬剤師・看護師教育を参考に

文部科学省高等教育局医学教育課課
長補佐 岩瀬鎮男氏

(2) 学生からみた医学教育の現状
熊本大学医学部医学科五年生 小林
光氏

(3) メディカルスタッフ教育体制の現
状と課題〜 教師の確保と質の向上の
面から

九州看護福祉大学長 二塚 信氏

(4) 九州におけるメディカルスタッ
フ育成教員養成の現状
厚生労働省九州厚生局健康福祉部指
導養成課看護教育指導官 山中真弓
氏

(5) 平成二十四年度「熊本県看護教員
養成講習会」開催の意義
熊本大学大学院生命科学部教授
森田敏子氏

(6) 専修学校における教員の教育力向
上への取り組み
九州中央リハビリテーション学院長
児玉公道氏

(7) 専門的力量形成を旨とする教員養成
〜 理論と実践の統合をめざして〜
熊本大学教育学部教授・附属小学校
長 河野順子氏

総合討論
コメント・熊本保健科学大学長 小野友
道氏

常任理事(庶務担当) 山本 哲郎

第二十八回熊本医学・生物科学 国際シンポジウムの開催案内

初秋の候、先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、私ども生命科学部・脳回路構造学分野に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る平成二十四年十一月十五日(木)〜十六日(金)に、脳回路構造学分野が担当し、第二十八回熊本医学・生物科学国際シンポジウム「神経疾患の治療を目指した基礎研究の進展」(Google Searchにて、脳回路構造学→シンポジウムホームページ)を熊本市医師会会館にて開催させて頂くこととなりました。本学術集会では、精神科領域、眼科領域、聴覚領域の神経疾患に関する、基礎研究とその再生医療による治療法の進展を、各分野の研究者を国内のみならず広く海外より迎え、神経疾患の治療法創出に向け、参加者の持つ最新の情報を共有して討論し、今後の更なる発展を目指す場とする所存でおります。

本シンポジウムは、熊本大学生命科学研究部の研究者のみの行事ではなく、大学院生、医学部学生に基礎研究の重要性を理解させ、明日の神経疾患治療法の創出のための源泉であることを悟らせることでもあります。会場を本荘キャンパスの西隣に隣接した熊本市医師会会館を用いることにより、十分な広さが確保でき

るとともに、研究部の研究者、教育部学生のみならず、大病院の医師も、仕事学習の合間にも参加できると考えております。また、熊本の医療を支える、市中病院、医療機関の医師の方々にも、様々なルートを通じて本シンポジウムの内容をお伝えし、日進月歩の基礎医学の進展を直接シンポジウムの会場で、垣間見ていただく機会とできれば、この上ない喜びと存じます。

末筆ながら、先生の益々のご発展を心よりお祈り申し上げますと同時に、公益財団法人肥後医育振興会からのご支援に対し厚く御礼申し上げます。

第二十八回熊本医学・生物科学国際シンポジウム会長
熊本大学大学院生命科学部脳回路構造学
分野 教授 玉巻 伸章

二十四年度医学研究会・ 研修会等への助成を行う

平成二十四年度は、次の十二件の学会、研究会、研修会等に助成が決定しています。

- ・ 日本精神保健看護学会第二十二回総会・学術集会 六月二十三日〜二十四日
- ・ 第十八回日本遺伝子治療学会年次学術集会 六月二十八日〜三十日
- ・ 熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成 七月一日〜三月三十一日
- ・ 日本看護学教育学会第二十二回学術集会 八月四日〜五日